令和 8 年 10 月 29 日

# 第 19 回日本カンピロバクター研究会総会　開催案内（第三報）

第 19 回日本カンピロバクター研究会総会のプログラムが確定いたしましたので、ご案内申し上げます。今年の研究会総会は、極限環境微生物の環境適応機構の解明と応用研究に取り組まれている伊藤政博先生をお招きし、「極限環境微生物の基礎と応用」として教育講演を企画しました。また、シンポジウムでは「カンピロバクター対策の最前線 ― 行政機関の取組と今後の展望 ―」というテーマで、国および自治体において食品安全行政に携わる先生方にご講演を依頼しました。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。当日は活発な討論と情報交換がなされ、本研究会総会が新たな出会いや交流の輪を広げる場となることを願っております。

第 19 回日本カンピロバクター研究会総会
総会長　下島 優香子（東洋大学）

■　会期：令和 8 年 11 月 26 日（木）9 時 20 分～17 時 35 分（受付開始 8 時 50 分）

■　会場：東洋大学朝霞キャンパス 2802・2803 教室（2 号館 8 階）
（所在地）〒351-8510　埼玉県朝霞市岡 48-1
（アクセス）東武東上線 朝霞台駅および JR 武蔵野線　北朝霞駅から徒歩 10 分
詳細につきましては下記 URL をご参照ください
https://sites.google.com/toyo.jp/udm4asa/home
オンライン配信とのハイブリッド開催

■　参加費（抄録集代含む）：2,000 円（会員）、3,000 円（非会員）、学生無料
※抄録集は当日会場にて 1 冊 1,000 円で販売します。
なお、本研究会への新規入会手続きについては、日本カンピロバクター研究会ホームページをご確認ください。

■　運営委員会：11 月 25 日（水）15：30－16：30　2802・2803 教室

■　情報交換会
11 月 26 日　18 時－20 時
東洋大学朝霞キャンパス学生食堂
情報交換会参加費：2,000 円

■ 参加・情報交換会申込

申込方法：Google フォームでの申し込みとします。

参加登録フォーム：https://forms.gle/e1wW5Sa8mjboBhgj6

申込期間：令和 8 年 9 月 1 日(火)～11 月 13 日(金)

当日の参加も受け付けます。ただし抄録集の配布および情報交換会への参加は余裕がある場合に限らせていただきます。できる限り事前にお申し込みください。

参加費のお支払いについて

現地参加の方は、当日受付にて参加費をお支払いください。

オンライン参加の方（学生を除く）は、事前に指定口座へのお振込みをお願いいたします。振込方法の詳細は、参加登録後にご案内いたします。

■ 一般演題発表要領

（発表形式）

1. 全て口頭発表とします。
2. 発表時間は発表 10 分、質疑応答 3 分とします。
3. 発表スライド作成方法

Microsoft PowerPoint で作成してください。スライドサイズは「16：9」に設定してください。

※発表スライド送付方法

PDF 化したファイルを電子メールの添付ファイルで総会事務局に送付してください。

ファイル名は「口頭発表者氏名」にしてください。

送付先アドレス：campy19th@toyo.jp

送付締切：令和 8 年 11 月 19 日(木)必着（厳守）

事務局：　〒351-8510 埼玉県朝霞市岡 48-1
東洋大学　食環境科学部
下島優香子
E-mail: campy19th@toyo.jp

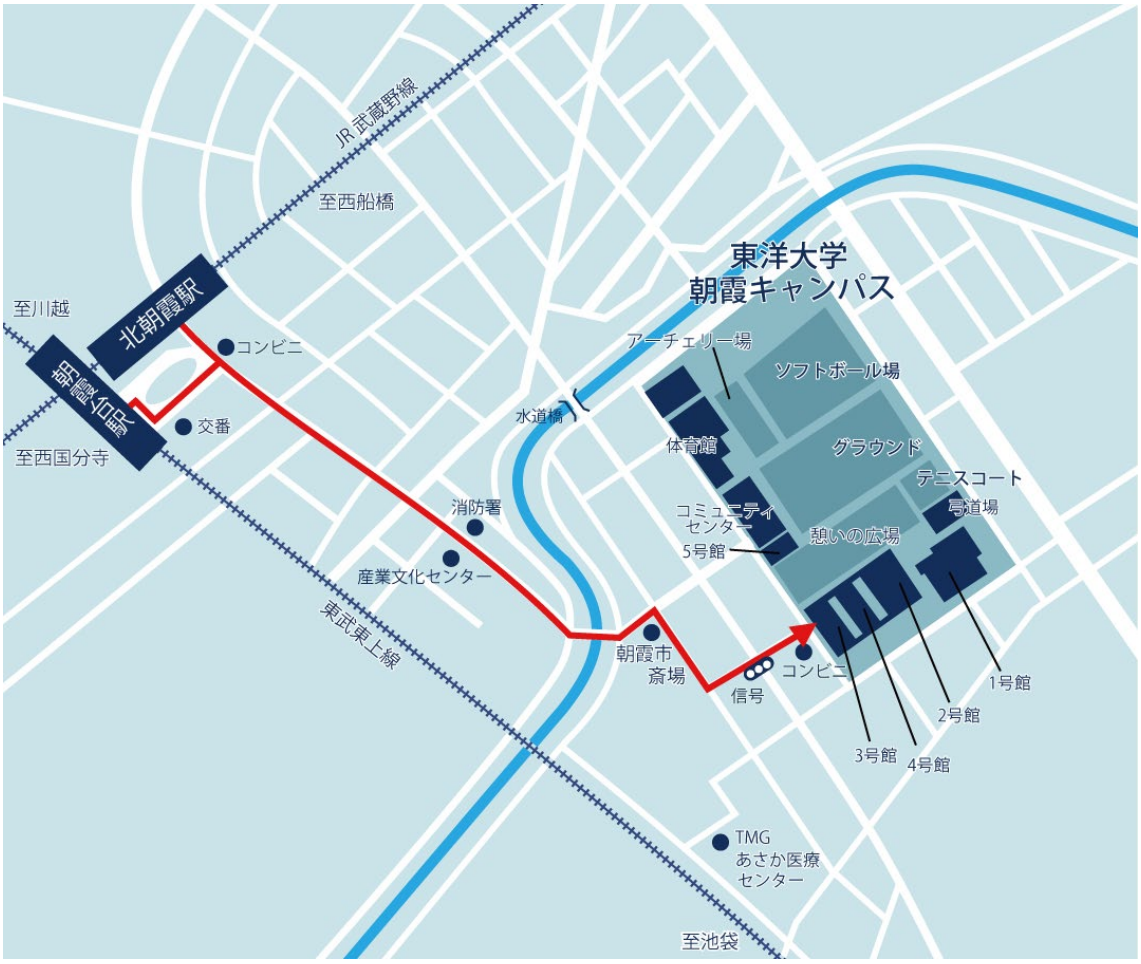
# 会場へのアクセス

最寄り駅

JR 武蔵野線:「北朝霞」駅(徒歩 10 分)

東武東上線:「朝霞台」駅(徒歩 10 分)

朝霞台・北朝霞駅から会場までの地図



# プログラム

**受付開始　11 月 26 日(木) 8:50**

## 午前の部 9:20―12:50

開会の辞 9:20―9:25

会長　赤瀬 悟（岡山理科大学）
第 19 回総会長　下島 優香子（東洋大学）

生命科学部長挨拶 9:25―9:30

東洋大学 生命科学部長　根建 拓

一般演題(口頭発表) 9:30―11:14

●セッション 1 9:30―10:09　座長:赤瀬 悟（岡山理科大学）

演題 1「南九州に流通する生食用鶏肉の *Campylobacter* 属菌の汚染状況」
中馬 猛久（鹿児島大学）

演題 2「鶏群と鶏肉のカンピロバクター定量調査」
佐々木貴正（帯広畜産大学）

演題 3「食鳥処理場におけるカンピロバクターと体汚染実態:9 食鳥処理場における 3 年間の定量的モニタリング」
谷口 喬子（宮崎大学 産業動物防疫リサーチセンター）

●セッション 2 10:09―10:48　座長:佐々木貴正（帯広畜産大学）

演題 4「食中毒由来 *Campylobacter jejuni* における Penner 遺伝子型と LOS クラス・cst-II 多型の分布と関連」
古山 裕樹（埼玉県衛生研究所）

演題 5「*Campylobacter jejuni gyrA* におけるキノロン耐性に寄与する点変異の発生・維持過程の解析」
カール 由起（福岡県保健環境研究所）

演題 6「高知県における鶏肉の生食とカンピロバクター抗体陽性に関連する要因の検討」
佐藤 諒介（国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 実地疫学専門家養成コース（FETP））

●セッション 3 10:48―11:14　　座長:中馬 猛久（鹿児島大学）

演題 7「カンピロバクターフリー鶏の無薬飼育 ―経口感染実験による可能性の検討―」
八田 一（京都女子大学）

演題 8「鶏肉のカンピロバクター汚染低減策に向けた取組」
鎌田佳叶乃（帯広畜産大学）

（休憩 8 分間 11:14―11:22）

一般演題(口頭発表) 11:22―12:40

●セッション 4 11:22―12:01　　座長:下畑 隆明（福井県立大学 海洋生物資源学部）

演題 9「*Campylobacter jejuni* のセリン依存的表層性状と宿主細胞相互作用への PEB3 および PEB2 の関与」
渡部 綾子（国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門）

演題 10「カンピロバクター腸炎マウスモデルを用いた宿主免疫応答の解析」
細見 晃司（大阪公立大学）

演題 11「*Campylobacter jejuni* の腸管定着および細胞内生存における腸内細菌由来シデロフォアの役割」
白石 志帆（大阪健康安全基盤研究所）

●セッション 5 12:01―12:40　　座長:岩田 剛敏（農研機構 動物衛生研究部門）

演題 12「温度・栄養供給に着目した *Campylobacter jejuni* の自由生活性アメーバ細胞を利用した環境生存」
下畑 隆明（福井県立大学）

演題 13「マイクロ流路型 PCR によるカンピロバクター属菌のスクリーニング検査:現状と課題」
橋本 信一郎（株式会社ウェルファムフーズ）

演題 14「PMA-ddPCR 法による 4℃保存鶏肉中のカンピロバクターの生菌数の定量」
宮島 渚（大阪府立大学 生命環境科学域 獣医学類）

企業プレゼンテーション 12:40―12:50

関東化学株式会社　　12:40～12:45
デンカ株式会社　　12:45～12:50

昼休み 50 分間 12:50―13:40

昼食には、キャンパス内の以下の施設をご利用いただけます。
２号館１階:学生食堂「Umart!」(学生が運営する食堂)
３号館１階:「CAFÉ BASIC」(コーヒー、ホットドッグなど)
２号館２階:生協売店

## 午後の部 13:40―17:35

総会 13:40―14:00

シンポジウム 14:00―15:40
座長:三澤 尚明 (宮崎大学)、中村 寛海 (大阪健康安全基盤研究所)

「カンピロバクター対策の最前線 ― 行政機関の取組と今後の展望 ―」

講演１「カンピロバクターに関する食品健康影響評価の経緯と評価見直しに向けた審議状況」
奥村 水門 (内閣府食品安全委員会事務局 評価第二課)

講演２「カンピロバクター食中毒と農林水産省の取組」
今村 彩貴 (農林水産省 消費・安全局 食品安全政策課)

講演３「カンピロバクター食中毒対策における厚生労働省の取り組み」
森吉 美樹 (厚生労働省 健康・生活衛生局 食品監視安全課)

講演４「食鳥処理場における外部検証の概要と微生物試験の実態調査」
大関 桂子 (新潟県新発田食肉衛生検査センター)

講演５「インターネット販売されている「鶏刺し」及び「鶏肉低温調理品」の微生物学的汚染実態調査」
大川 佳子 (東京都健康安全研究センター 広域監視部 食品監視第二課)

パネルディスカッション 15:40―16:10　　進行:三澤 尚明、中村 寛海

（休憩 10 分間 16:10―16:20）

| 教育講演 16:20―17:20 | 座長:下島 優香子（東洋大学） |
|---|---|

「極限環境微生物の基礎と応用」

伊藤 政博（東洋大学 生命科学部生物資源学科）

| 優秀発表賞授賞式 17:20―17:25 |
|---|

| 第20回カンピロバクター研究会総会長挨拶 17:25―17:30 |
|---|

| 閉会の辞 17:30―17:35 |
|---|